

**平成30年度 宮崎市子ども・子育て支援プラン推進施策  
点検・評価表**

**基本理念**

安心して子どもを産み育て、子どもが健やかに成長できるまちづくり

**1 子どもの健やかな育ちを守ります**

- (1) 子どもの健康の保持と増進 (P1)
- (2) 子どもの最善の利益の確保 (P2)
- (3) 障がい児などの特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実 (P3)
- (4) 安全安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備 (P4)

**2 子育てを通して親としての成長を支えます**

- (1) 妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援 (P5)
- (2) 地域における子育て支援の推進 (P6)

**3 子育てと仕事が両立できる環境をつくります**

- (1) ワーク・ライフ・バランスの推進 (P7)
- (2) ひとり親家庭の自立支援 (P8)

**4 教育・保育や子育て支援の質の向上に取り組みます**

- (1) 教育・保育内容の質の向上 (P9)
- (2) 認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進 (P10)

## 推進施策1 - (1) : 子どもの健康の保持と増進

基本的な考え方	子どもの健康の保持と増進を図るため施策の充実に取り組むとともに、病気や障がいなどで支援が必要な乳幼児の保護者に対して正しい知識の啓発や、福祉・保健・医療などの関係機関との連携による支援しやすい環境づくりに努める。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 乳幼児医療費無料化の継続	すべての子どもが早期に必要な医療を受けることができるよう、未就学児の医療費の無料化を継続し、子どもの健康の維持を図る。	乳幼児医療費助成事業
(2) 乳幼児などに対する感染症対策の充実	感染症の発生・重症化予防及びまん延を防止するため、定期・任意予防接種の充実に努める。また、地域の医療機関と連携を図り、感染症の発生状況や予防接種に関し、情報の共有を図る。	乳幼児等定期予防接種事業、他
(3) 乳幼児などの健康管理の推進	乳幼児などが心身ともに健やかに成長していくため、地域の医療機関などと連携し、健康診査や保健指導などを実施し、健康の保持増進を支援する。	幼児集団健康診査事業（1歳6か月児健康診査事業）、
(4) 思春期保健対策の充実	思春期における子どもたち一人一人が自らの心と体を大切にするように、学校・関係機関などとの連携のもと、正しい知識の普及を進めるとともに、相談体制の強化を図るように努める。	思春期保健事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	(基準年度)						(中間年度)	(最終年度)
	実績						目標	
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
①乳幼児医療費レセプト1件当たりの県補助単価	1,373円	1,354円	1,351円	1,331円	1,303円	1,375円	1,350円	
②予防接種率（麻しん・風しん混合ワクチン）（1歳）	100.7%	96.9%	97.7%	106.2%	100.1%	95.4%	100.0%	
③予防接種率（麻しん・風しん混合ワクチン）（5-6歳） ※）※小学校に入学する前の1年間で接種する児童	98.0%	91.1%	94.4%	95.5%	94.5%	96.8%	100.0%	
④予防接種率（BCG）（1歳未満）	90.3%	99.9%	99.4%	98.7%	103.4%	97.2%	100.0%	
⑤3歳6か月児 健康診査受診率	94.6%	97.7%	95.3%	98.2%	97.4%	97.5%	97.0%	
⑥むし歯のない3歳児の割合	79.9%	80.8%	82.4%	83.5%	84.6%	87.3%	84.0%	
⑦仕上げ磨きをする親の割合（3歳6か月児健診）	96.4%	95.4%	96.5%	95.9%	96.5%	96.7%	100.0%	

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがでしょう	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
この施策への取組について、ご意見を記入ください。		

**推進施策 1 - (1) : 子どもの健康の保持と増進**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である = A、 どちらかといえば順調である = B  
 あまり順調でない = C、 順調でない = D

評価	意見等
A (1人) B (6人) C (1人)	A 行政による積極的な働きかけが重要。健診受診 100%になるよう進めるべき。未受診者には何かあると思ってもよいのでは。 B 思春期保健対策の部分が見えにくい。 B 全体的には少しずつでも実績値が上がっているのでどちらかといえば順調だと思う。1歳の麻しん・風しん混合ワクチンとBCGの予防接種率が下がっているのが気になるので、改善点をしっかり見つけないといけないと思う。 B 宮崎市の教育保育施設が100%を目指し保護者に関わることで数値は確実に上がると思う。単に案内だけでなく、より積極的な働きかけをすると良いと思う。 C 思春期保健対策の内容が見えない。保健所以外の部門、学校教育の動きが見えない。

## 推進施策1 - (2) : 子どもの最善の利益の確保

基本的な考え方	虐待、貧困など社会的な支援の必要性が高い子どもを含め、一人一人の子どもの健やかな育ちが等しく保障され、子どもの人権が守られる、いわゆる「子どもの最善の利益」が実現される社会づくりが必要です。早期発見、対応ができる体制づくりに努めるとともに、子どもの貧困対策についても推進していきます。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 子どもの権利に関する啓発活動の充実	子どもの人権の尊重および確保のため、子どもの権利などについて、市のホームページの充実や講座・研修会などの他、様々な機会を通して、普及・啓発を行います。	人権啓発推進事業、他
(2) 子どもに関する相談機能の充実	子どもが相談しやすい環境を整え、学校や保護者・地域と連携した相談体制の強化に努めます。必要な人が必要な時に必要な支援を受けられるよう、様々な手段により市民への周知に努めます。	小中学校スクールカウンセリング等事業、他
(3) 児童虐待防止体制の充実	支援が必要な世帯の把握に努めるとともに、児童虐待を未然に防止するための啓発を積極的に行い、「子ども・愛（EYE）・みやざき」を合言葉に、児童虐待の早期発見、早期解決に努めます。	一時預かり事業費補助事業、他
(4) 子どもの貧困対策の推進	複合的な課題を抱える生活困窮世帯に対し、福祉・保健・教育の各分野が連携するとともに、現状や問題点などを分析し、総合的な子どもの貧困対策に向けた検討を行います。	学習支援ボランティア事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績						目標
	(基準年度)	(中間年度)	(最終年度)				
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①家庭児童相談対応延べ件数	6,648件	6,410件	5,934件	6,887件	9,181件	9,546件	7,000件
②養育支援訪問延べ件数	67件	23件	43件	59件	67件	78件	80件
③子育て短期支援事業延べ利用日数	115日	121日	214日	158日	187日	213日	353日

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがですか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

＜評価表 **3 施策の推進状況についての点検・評価** のまとめ＞

**推進施策1 - (2) : 子どもの最善の利益の確保**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である = A、 どちらかといえば順調である = B  
 あまり順調でない = C、 順調でない = D

評価	意見等
B (5人)  C (3人)	B 早期対応、積極的支援の動きが見られる。児童虐待防止や貧困対策について、NPO 団体等との連携も積極的に進めるとよい。 B マンションに住んでいる子ども、市営・県営住宅に住んでいる子ども、生活の格差があり、いじめのもとになっているのでは。 C 本当に一時保護を必要とされる子が沢山いるが、同じような通告でも片方は保護され、片方は保護されない状況があり、保護されない子の近所の人たちは、何か起きてからでは遅いのにと心配されることがある。 C 他の自治体や国の追随だけでなく、予防重視のスキル開発が重要です。しかもお金がかからない。 C 人手不足を感じる。

### 推進施策1 - (3) : 障がい児など特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実

基本的な考え方	子ども一人一人が特性に応じた適切な支援を受けられるよう、障がいの早期発見、早期支援や保護者への正しい知識の啓発に努めるとともに、福祉・保健・医療分野の連携により、継続的に子どもの発達に応じた支援ができる体制の充実に努めます。
---------	--

#### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 疾病および事故の予防、早期発見並びに治療の推進	不安を抱える保護者が相談しやすい環境を整えることで早期発見・早期支援に努めます。地域住民の障がいに対する理解を促し、日常の中で見守りが図られる関係づくりを支援します。	幼児集団健康診査事業、他
(2) 専門的な医療や療育の提供	宮崎市総合発達支援センターの機能充実、関係機関との連携強化を図り、早期療育体制の充実に努めます。子ども一人一人の育ちを支援し、発達が気になる子どもにも適切な療育ができるよう努めます。	宮崎市総合発達支援センター指定管理料
(3) 一人一人のニーズに対応した教育の提供	支援体制の強化や教育相談センターの相談機能の充実に努め、障がいのある児童の教育の充実に努めます。特別支援教育に関わる教職員などの資質の向上に努めます。	特別障がい者手当等給付事業（特別児童扶養手当）、他
(4) 多機関連携による教育支援体制の整備	すべての子どもが必要な支援や教育を受けられるよう、特別支援教育連絡会や宮崎市自立支援協議会などの開催を支援し、福祉・保健・医療・教育の各分野が連携できる体制の構築に努めます。	自立支援協議会運営事業

成果指標	実績						目標
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①乳幼児発達相談延べ人数	314人	303人	274人	256人	246人	274人	290人
②宮崎市総合発達支援センター利用者数	37,147人	41,923人	43,476人	40,652人	39,985人	37,781人	49,900人
③スクールサポーター派遣数	46人	46人	50人	52人	57人	61人	56人

#### 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがでしょう	( ) 順調である	( ) どちらかといえば順調である
	( ) あまり順調でない	( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

＜評価表 **3 施策の推進状況についての点検・評価** のまとめ＞

**推進施策1 – (3) : 障がい児など特別な支援が必要な子どもに対する施策の充実**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
B (3人) C (5人)	B 親がどれだけ納得しているかが出てくると思う。 B スクールサポーターの派遣数が、少しずつでも増えていっている ので、少しずつ助かる親子が多くなるのではと期待できる。 C 学校としては、スクールサポーター等の支援員の増員希望を強く 持っている。 C 発達支援センターの受診は、以前に比べ随分早くなった気がする。 訪問支援もありがたい。学校は人が足りないのだと痛感する。 C 発達支援センター利用者数について、内容が見えず、また向上し ていると判断できない。レスパイトケアは、それ単独だと子育て から逃げる手段を強化してしまう。組み合わせでどのようなケア、 介入を行ったかが大切。 C 特性のあるお子さんが増えているので、支援体制を充実させてほ しい。

## 推進施策1－(4)：安全・安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備

基本的な考え方	子どもの遊びをめぐる現状を踏まえ、子どもの心身の健やかな発達を守るため、安全・安心で魅力ある遊び場の確保や遊びの活動拠点となる施設などの充実・改善を図るとともに、地域と行政が一体となって子どもの健全育成を推進できる体制づくりを進めていきます。
---------	---

## 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 子どもの遊び場の確保	心身ともに豊かな人間形成を育むために、公園の整備や遊具などの維持管理を行い、子どもたちが安全で快適に遊べる環境づくりに努め、子どもの屋外での体験活動を支援します。	公園の維持管理、他
(2) 児童館・児童センターなどにおける児童健全育成の充実	子ども同士の触れ合い事業や世代間交流などの充実に努めます。地域が一体となって子どもの健全育成を推進できる環境づくりを促進します。	ハロー・キッズ・ルーム運営事業、他

## 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	(基準年度)						(最終年度)	
	実績						目標	
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
①児童プール延べ利用者数	23,384人	17,811人	21,341人	21,922人	20,582人	18,155人	23,700人	
②児童館・児童センター延べ利用者数	301,746人	313,615人	340,126人	335,707人	325,497人	319,836人	336,100人	

## 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがでしょう	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		



<評価表 **3 施策の推進状況についての点検・評価** のまとめ>

**推進施策1 - (4) : 安全・安心な活動場所など、子どもの健全な発達のための良質な環境整備**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である = A、 どちらかといえば順調である = B  
 あまり順調でない = C、 順調でない = D

評価	意見等
B (6人)  C (2人)	B 子ども側にとっては、有難い。ただ、監視員確保等、人材の確保は十分だろうか。 B できれば昔のように公園でもボールで遊べる場所を作ってほしい。現公園以外に別途でもよいので。 B 安心安全な遊び場、まちづくりは、自治会や施設（保幼小）などの声も聞きながら早急に進めていただきたい。長雨時の危険など新たな視点も必要。 B 子どもが遊ぶ遊具が減っている感じがする。児童プールの監視員が足りないというニュースも見ている。安心安全に遊ぶ環境づくり、がんばっていただきたい。 C 子どもの健全発達のための良質な環境整備のためには、物的環境への投資だけでなく、人的環境への資源投入が必要です。宮崎市に「森のようちえん」を語れる保育者がいるでしょうか。

## 推進施策2－（1）：妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援

基本的な考え方	保護者の育児不安の解消、虐待の未然防止、母親および乳児の健康の保持と増進を図るため、妊娠期からの早期支援につなげる体制を整え、保健事業の充実や保護者の気持ちに寄り添った相談・情報提供など、妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない子育て支援に取り組みます。
---------	---

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 妊娠・出産の支援	妊娠初期から妊婦健康診査の必要性などの保健指導や妊娠・出産に関する情報提供を行います。不妊治療費の助成を行うとともに、学校や医療機関などの関係機関と連携した相談体制の充実を図ります。	妊婦健康診査事業、他
(2) 育児への知識・技術の普及・啓発	男女を問わず育児の知識や技術を習得できるよう、医療機関、関係機関と連携し、出産準備教室や乳幼児健康相談を実施するとともに、保健師などによる訪問指導により、育児不安の軽減に努めます。	離乳食教室事業、他
(3) 保健・医療・福祉・教育などの連携強化	産前・産後からの切れ目のない支援を行うため、母子保健事業に関わる保健所や保健センター・医療機関・学校・児童福祉施設・民間団体などで意見交換や情報の共有化などを行い、連携強化を図ります。	
(4) 小児医療・周産期医療の体制整備	将来にわたって安心して出産・育児ができるように環境の整備・充実を図ります。夜間対応の小児救急医療の円滑な連携体制を構築し、周産期医療については、医療提供体制や産後ケアの強化を図ります。	宮崎市夜間急病センター小児科管理運営事業

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績						目標
	(基準年度) 25年度	(基準年度) 26年度	(基準年度) 27年度	(基準年度) 28年度	(中間年度) 29年度	(中間年度) 30年度	(最終年度) 31年度
①妊婦健康診査受診率（1回目）	98.0%	99.1%	97.5%	98.7%	98.7%	99.1%	100.0%
②合計特殊出生率	★1.57 (H24数値)	★1.57 (H25数値)	★1.59 (H26数値)	★1.61 (H27数値)	★1.63% (H28数値)	★1.63% (H29数値)	1.63%
③10歳代の11週以前の妊娠届率 <small>※11週以前の妊娠届：妊婦の健康管理の充実を図るため14回の妊婦健康診査を受診するには「妊娠11週以前での妊娠届出」が必要</small>	70.7%	70.1%	69.5%	66.0%	70.3%	78.3%	90.7%
④妊娠中の妊婦の喫煙率	10.7%	3.4%	3.0%	3.1%	2.9%	2.5%	0.0%
⑤妊娠中の妊婦の飲酒率	10.9%	0.6%	0.5%	0.2%	0.3%	0.4%	0.0%
⑥不妊に悩む方への特定治療費助成件数	406件	405件	438件	385件	333件	386件	390件
⑦人工死産率	★2.14% (H23数値)	★2.12% (H24数値)	★2.23% (H25数値)	★1.64% (H26数値)	★1.68% (H27数値)	★1.43% (H28数値)	1.26%

★合計特殊出生率は1年遅れ、人口死産率は2年遅れでの公表

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがでしょう	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見を記入ください。		

＜評価表 **3 施策の推進状況についての点検・評価** のまとめ＞

**推進施策 2 - (1) : 妊娠・出産期からの親子の成長への切れ目のない支援**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である = A、 どちらかといえば順調である = B  
 あまり順調でない = C、 順調でない = D

評価	意見等
B (8人)	<p>B 安心した出産・育児に向け、相談・支援を充実してほしい。県とも連携した事業として取り組み強化することも考えられる。</p> <p>B 妊婦健診の受診率が高い、妊婦の喫煙率、飲酒率が下がっているところを見ると、どちらかというと順調に見える。</p> <p>B 保健以外のセクションの貢献が見えない。保育幼稚園課や生涯学習課、学校教育課の積極的な活動が望まれる。</p> <p>B 10代の妊娠届率が上がっているのに安心を感じた。一方で、妊婦の喫煙率が気になる。</p>

## 推進施策2 – (2) : 地域における子育て支援の推進

基本的な考え方	保護者が安心して子どもと向き合える環境を整え、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、地域での子育て支援体制の充実や子育て家庭に必要な情報が得られる環境整備に努めます。
---------	---

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 育児に関する相談機能の充実	地域子育て支援センターにおいて育児に関する相談を受け付け、子育てへの不安や負担などの軽減を図ります。また、相談体制を充実させるため、職員の専門性の向上や保健所・保健センターなどの関係機関との連携強化を図ります。	母子訪問事業、他
(2) 子育てに必要な知識の普及・啓発および子育てに関する情報提供の充実	地域子育て支援センターで子育てなどに関する講座や講習を開催し、家庭における育児を支援します。子育てに関する情報を手軽に入手できるように、宮崎市子育てナビの活用等、情報提供の充実を図ります。	男女共同参画社会づくり意識啓発事業、他
(3) 地域で子育てを支援する体制づくり	子育て中の親子が、地域住民や他の子育て中の保護者と交流できるように子育て支援活動を支援します。ファミリー・サポート・センター事業や一時預かり事業を充実させ、保護者の負担軽減に努めます。	ファミリー・サポート・センター管理運営事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	(基準年度)						(中間年度)	(最終年度)
	実績							目標
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
①地域子育て支援センター延べ相談件数	7,816件	6,428件	6,248件	7,336件	8,927件	8,932件	8,000件	
②地域子育て支援センター延べ利用者数	125,199人	131,842人	137,372人	140,265人	138,559人	140,345人	167,640人	
③ファミリー・サポート・センター延べ活動件数	2,639件	2,634件	2,848件	2,656件	3,032件	2,691件	2,839件	

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがでしょう	( ) 順調である	( ) どちらかといえば順調である
	( ) あまり順調でない	( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

＜評価表 **3 施策の推進状況についての点検・評価** のまとめ＞

**推進施策2 - (2) : 地域における子育て支援の推進**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
<p>A (2人)</p> <p>B (5人)</p> <p>C (1人)</p>	<p>A 母子訪問事業で気になる母子のピックアップなどをしっかりして民間団体とも連携して対応してもらえていて安心している。今後 も続けていってほしい。</p> <p>B 地域において参観日の託児を15年以上実施しているが、婦人会も 高齢化しているのでPTAの保護者にも声掛けをしている。</p> <p>B 相談・支援の実施に関してさらに広く知ってもらえるようPRする とよい。</p> <p>B SNS等での情報発信に力を入れてほしい。利用者数につながると 思う。</p> <p>B 広報の仕方に工夫はあるが、SNSは難しい面もあり、今の親の二 ーズに応えにくいところもある。自治会未加入により広報紙があ まり見られていない。</p> <p>C 相談体制を向上させるための職員の専門性の向上については、デ ータがない。</p> <p>子ども課がペアトレのトレーナー養成を放り出して以来、変わる ものを見つけ出せていない。後退したままと評価している。</p> <p>育児援助者養成講習会について、どのレベルの養成を行い、結果 を出しているのかが見えない。</p> <p>関連事業の中に幼稚園就園奨励費や児童手当、遺児福祉手当、教 育資金融資が含まれているが、それらの事業が「地域における子 育て支援」と言えるのかが疑問。</p>



＜評価表 **3 施策の推進状況についての点検・評価** のまとめ＞

**推進施策3 - (1) : ワーク・ライフ・バランスの推進**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である = A、 どちらかといえば順調である = B  
 あまり順調でない = C、 順調でない = D

評価	意見等
A (1人) B (3人) C (4人)	<p>B 共働きが当たり前になっている現状、子どもたちの居場所づくり、色々な意味で大変だと思う。</p> <p>B 子どもが病気の時、学校行事のある時、子育て中の時こそ休みやすい職場環境をまず整えてほしい。子どもと向き合う時間を保育の量でカバーするのではなく、そこに時間が使える体制をしっかりと整えることが大切。</p> <p>C なかなか「自分らしい働き方、子育ての仕方」を実現できないと相談されるお母さんはまだ多く見られる。就職マッチングにもっと力を入れて行ってほしい。</p> <p>C 児童クラブの待機解消に向けた動きが見られる。</p> <p>育休からの復帰の際、入所できるかどうかが大きな問題。安心して育休取得、復帰ができるよう、今後も努力・工夫が望まれる。</p> <p>C 児童クラブの待機児童数が0(ゼロ)にならない。放課後、子どもたちが十分に遊べる居場所をもっと増やしてほしい。</p> <p>C ワークライフバランスのために全くお金を使っていない。通常の保育園、子ども園、幼稚園の運営経費は、ワークライフバランスの枠で適切なのかが疑問。</p>

### 推進施策3 – (2) : ひとり親家庭の自立支援

基本的な考え方	ひとり親家庭の母親等の抱える様々な相談に応じるとともに、関係機関との連携していきます。それぞれのひとり親家庭の置かれている状況に応じた子育て・生活支援や経済的自立に向けた就業支援に取り組みます。
---------	---

#### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 相談支援の充実	ひとり親家庭の抱える様々な問題の軽減を図るため、民生委員・児童委員、女性相談員、家庭児童相談員及び関係機関と連携を図り、相談者へ助言や情報提供を行い、自立に向けた支援に努めます。	家庭児童相談事業、他
(2) 生活支援の充実	ひとり親家庭の生活を安定させるため、保育所や児童クラブ及び公営住宅の入所に配慮するとともに、ひとり親家庭への助成制度や生活支援情報の周知に努めます。	ひとり親家庭等日常生活支援事業、他
(3) 就業支援の充実	自立支援員による就業相談や情報提供を行うとともに、ハローワークなどとの連携による支援を行います。就労につながる知識・技能を身につけるため、講習会の開催や資格取得ができるように支援を図ります。	母子家庭等自立支援給付金事業、他

#### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	(基準年度)						(中間年度)	(最終年度)
	実績						目標	
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
①自立支援延べ相談件数	5,876件	6,842件	6,423件	6,413件	7,433件	7,580件	6,700件	
②資格取得者の就業率	85.0%	100.0%	100.0%	85.0%	88.2%	76% ※暫定値	100.0%	

#### 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがでしょう	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		



**推進施策3 – (2) : ひとり親家庭の自立支援**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である = A、 どちらかといえば順調である = B  
 あまり順調でない = C、 順調でない = D

評価	意見等
B (5人) C (2人) D (1人)	B 相談、生活、就業に関する各支援を継続してお願いしたい。 B ひとり親の方で食事がしっかり取れていない等、生活に余裕が無いという話を聞く。貧困に陥らないよう、サポートをお願いしたい。 B 母子寡婦福祉協議会の会員数が減っているのに、協議会への補助事業の支出が変わっていないことに疑問を感じる。 B 関連事業の実績で経費がゼロや「-」となっている事業は、それで事業が成立したのかが疑問。 C 母子家庭、父子家庭が最近多くなっているが、様々な問題を相談できる人と隠しておきたい人がいると思うので、支援は難しいと思う。 D 家庭の事情で自立したくてもできない時に、本当にひとり親世帯の母子が安心して自立できる環境づくりに本気で取り組んでほしい。

## 推進施策4－(1)：教育・保育内容の質の向上

基本的な考え方	教育・保育に従事する者の資質や専門性の向上を図るとともに、幼稚園や保育所などへの適切な指導などを通じて質の高い教育・保育および子育て支援の提供を図ります。また、幼稚園と保育所の機能を併せ持ち、保護者の就労状況に関わらず教育・保育を提供することができる認定こども園の普及に努めます。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 幼稚園教諭および保育士の資質向上	関係機関との連携および協働による研修会の開催、情報交換などを行い、質の高い事業の提供に努めます。障がいのある子どもとその保護者支援を図るため、幼稚園教諭と保育士の専門性向上に努めます。	宮崎市保育団体補助事業、他
(2) 教育・保育などの適正な実施（施設監査など）	教育・保育施設や地域型保育事業の実施状況を確認するため、実地による施設監査などを定期的に行うとともに、必要に応じて助言・指導などを行い、教育・保育などの適切な実施を図ります。なお、市の認可施設だけでなく、認可外保育施設にも立入調査を行います。	認可外保育施設の指導監査、他
(3) 認定こども園の普及	幼稚園・保育所から認定こども園への移行ができるように相談体制を強化し、認定こども園の普及を図ります。幼稚園からの認定こども園へ移行する施設で3歳未満児の受け入れができるように支援を行います。	認定こども園整備交付金事業、他
(4) 保育士などの人材確保	関係機関と連携した就職説明会や体験研修などを実施し、保育士の人材確保に努めます。幼稚園教諭免許状と保育士資格の併有促進を図るため、資格取得のための支援を行います。	私立保育所運営費補助事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績						目標
	(基準年度) 25年度	(基準年度) 26年度	(基準年度) 27年度	(基準年度) 28年度	(中間年度) 29年度	(中間年度) 30年度	(最終年度) 31年度
①認定こども園の設置数	10か所	12か所	22か所	37か所	51か所	58か所	45か所
②定期指導監査の実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
③保育士などの就職説明会への参加者数	105人	96人	148人	84人	107人	117人	150人

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがでしょうか	( ) 順調である ( ) あまり順調でない	( ) どちらかといえば順調である ( ) 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

**推進施策4 - (1) : 教育・保育内容の質の向上**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
A (1人)  B (7人)	B 人材を確保することが資質向上にもつながる（逆に言えば、保育士の処遇改善が人材の確保につながる）と思うので、そのような施策を進めてほしい。 B 関連事業の一覧において、認定こども園の普及のところに「HP等による啓発」とあるが、今更何を啓発するのかが疑問。 認定こども園施設型給付事業や幼稚園施設型給付事業が保育士の人材確保につながるのかが疑問。 B 認定こども園の数も増え、乳幼児の教育・保育のニーズに対応できる施設は増えている。人材確保の難しさがあり、質の向上まで余力がないように感じる。 B どの園の教育・保育も質が均一となるよう、適切な指導・支援の継続をお願いしたい。 B 教諭および保育士の資質は大きな課題だと思う。経験が大きく影響してくると思う。 B 今後もしっかりとした定期指導監査を実施してほしい。

## 推進施策4－(2)：認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進

基本的な考え方	小学校の教育活動への円滑な移行のため、子どもの発達や学びの連続性、小学校教育と就学前教育の違いについて関係職員の理解を深めるとともに、接続期のカリキュラムの工夫や職員の資質向上に取り組むなど、保幼小連携の推進を図ります。
---------	--

### 1 主要な取り組み

項目	内容	主な事業等
(1) 保幼小連携の推進	教育・保育施設の職員や小学校の教諭が保幼小連携について共通認識を図り、地域での保幼小連携を推進するよう、協議会を設置・開催し、保幼小連携に向けた情報交換や連携体制の構築を図ります。	ブックスタート事業、他
(2) 接続期におけるカリキュラムの充実	小学校入学時における幼児期の教育との接続を意識したスタートカリキュラムを推進します。教育・保育施設の児童が、小学校入学に向けたアプローチカリキュラムを実施できるように支援します。	家庭教育事業、他

### 2 施策の成果指標に係る実績

成果指標	実績						目標		
	(基準年度)	(中間年度)	(最終年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
①スタートカリキュラムを実施する小学校数	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%		
②アプローチカリキュラムを実施する施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.7%	100.0%		
③小学校との連携体制が図れた施設（H29新規）					37.2%	64.7%	100.0%		
④小学校行事等への参加等が定着した施設数（H29新規）					37.2%	64.7%	100.0%		

### 3 施策の推進状況についての点検・評価

施策の推進状況はいかがでしょうか	<input type="checkbox"/> 順調である <input type="checkbox"/> あまり順調でない	<input type="checkbox"/> どちらかといえば順調である <input type="checkbox"/> 順調でない
この施策への取組について、ご意見をご記入ください。		

＜評価表 **3 施策の推進状況についての点検・評価** のまとめ＞

**推進施策4 - (2) : 認定こども園、幼稚園、保育所と小学校との連携の推進**

評価の記載について： ( ) 内は人数、  
 順調である=A、 どちらかといえば順調である=B  
 あまり順調でない=C、 順調でない=D

評価	意見等
A (2人)	A スタートした頃は心配していたが、短期間で目標に追いついた。形だけでなく、しっかりと連携できる関係を作ってほしい。 A 令和2年度からの全面実施に向けて、令和元年度中に幼保子でのアプローチカリキュラムの実践と小学校でのすり合わせが求められる。
B (5人)	B 各学校において、保幼小連携の取組が充実しつつある。保育園、幼稚園側の教育、保育に対する研修が深まっているのを感じる。
C (1人)	B 連携が1年生と年長児とのやり取りだけでなく、学校全体として取組めるとよいと思う。(他の学年の先生は知らないことが多い)カリキュラムについては、市を主導に積極的に研修を進めているので、全体のスキルが上がっていると思う。 C それぞれの施設長、校長との連携は、プライドのある方同士で大変難しいと思う。